

# Clinical Report

2019

関西医科大学附属病院

## 脳神経内科

救急から難病まで  
神経疾患を網羅する

### 教授

薬師寺 祐介 脳血管障害、認知症疾患

### 准教授

金子 鋭 神経変性疾患

竹之内 徳博 HTLV-1関連脊髄症

### 講師

國枝 武伸 脳血管障害

中村 正孝 神経変性疾患



関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

## 診療実績 (2018年度)

外来新患者数	1,133人	入院新患者数	374人
外来延患者数	14,852人	入院延患者数	6,611人
<b>手術件数</b>		<b>主な入院疾患</b>	
・血栓溶解療法(rt-PA療法)	15件	・脳血管障害(TIA含む)	115件
・筋生検	7件	・パーキンソン関連疾患	90件
		・運動ニューロン疾患	39件
		・重症筋無力症	19件
		・筋疾患	12件
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10件
		・脊髄小脳変性症	9件
		・中枢神経感染症	8件
		・脱髄性疾患	8件
<b>CT</b>		<b>核医学検査</b>	
頭頸部	455件	ドパミントランスポーターシンチ	98件
その他	209件	パーキンソンMIBG	51件
		全身Gaシンチ	8件
<b>MRI</b>		脳血流ECD	9件
脳	388件	脳血流IMP	66件
頭部MRA(動脈)	900件		
頸部MRA(動脈)	159件		
眼科・耳鼻科領域	3件		
頸椎	115件		
胸椎	49件		
腰仙椎	40件		
胸腹部	4件		
上下肢	8件		
		<b>生理機能検査</b>	
		覚醒脳波	206件
		頸動脈エコー	144件
		心臓エコー	108件
		下肢静脈エコー	20件
		その他エコー	17件
		12誘導心電図	306件
		ホルター心電図	108件
		血圧脈波	98件
		スパイログラム	106件
		筋電図検査	233件

## 治療成績 (2019年度)

<b>急性期脳卒中診療</b>		<b>筋生検</b>	7件	<b>HAM外来</b>	
脳梗塞入院	104名	ボトックス治療 (眼瞼痙攣・片側顔面痙攣)	401名	2019年度のfollow患者	37名
rt-PA (当院脳卒中センター全体では30名)	15名			新患・セカンドオピニオン	9名

## 診療アウトライン

神経内科専門医8名を擁する当科のスローガンは、「救急から難病まで神経疾患を網羅する」であります。神経救急疾患の核である脳卒中診療に関しては、脳卒中専門医3名、脳血管内治療専門医1名を擁し、救急医学科・脳神経外科・リハビリテーション科と共に、脳卒中センターの一角として脳卒中急性期患者受け入れを24時間365日体制で行っています。その他、てんかん、脳炎、ギラン・バレー症候群などの神経救急疾患も常時受け入れています。専門外来としては、全国的に数力所しかないHTLV-1関連脊髄症を対象としたHAM外来、眼瞼・顔面痙攣等に対するボトックス外来、脳卒中患者を対象とした脳卒中外来を開設しています。また2020年6月から認知症疾患を対象とした物忘れ外来を脳神経内科でも開設しました(トピックスを参照)。

## トピックス

### 新しい脳神経内科診療科長が着任しました。

2020年4月1日から脳神経内科診療科長として薬師寺祐介が着任しました。

#### ■脳梗塞急性期

発症から4.5時間以内であれば、詰まった脳の血管内の血栓を溶かすrt-PA治療を行うことで血流を再開し、症状が回復する可能性を高めることができます。2019年からは発症時間が明確でなくとも、MRI所見次第でrt-PA治療の適応となりました。発症から8時間以内であれば、脳血管内治療を行えることもあります。國枝講師は全国でも数少ない脳神経内科での血管内治療専門医です。



脳血管内治療

#### ■脳梗塞慢性期

慢性期のメンテナンスを目的とした脳卒中外来(担当:國枝講師)を開設しています。診療科長(薬師寺教授)は脳卒中治療ガイドラインの抗血小板療法の作成メンバーです。

#### ■HAM外来

HAM患者の近畿地区での集約を図っています。疾患活動性を図るバイオマーカーの測定は保険診療外ですが、当院では研究室で測定を行うことでそれを補い、より正確な診断・治療を行うことが可能となっています。竹之内准教授は治療ガイドラインの作成に携わり、本疾患のスペシャリストで、抗CCR4抗体の治験も行っています。

#### ■筋電図外来

末梢神経疾患、筋疾患、運動ニューロン疾患等の診断目的に、神経伝導速度、針筋電図を週3日行っています。6月から、本邦の筋電図検査の権威である幸原伸夫先生(神戸中央市民病院脳神経内科参事)の指導の下、さらなる診断制度向上に努めています。紹介の際はまず脳神経内科外来宛にお願いします。



筋電図外来の様子

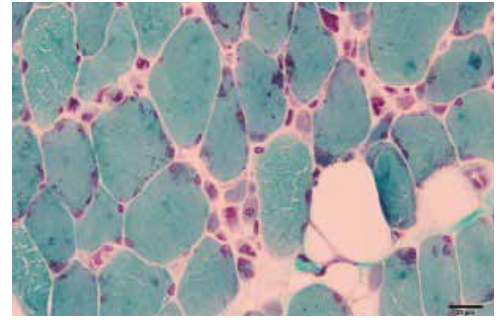
#### ■ボトックス外来

顔の筋肉がピクつく片側顔面痙攣、眼瞼痙攣へのボツリヌス毒素を局注するボツリヌス療法を行っています。第1、3、5土曜日に処置を行っていますが、診断を行った後の施行になりますので、紹介の際は脳神経内科外来にご紹介ください。

## トピックス

### ■筋生検

筋疾患の診断目的に当科入院の下で、筋生検を行い、専門的な染色法、判読を行います。

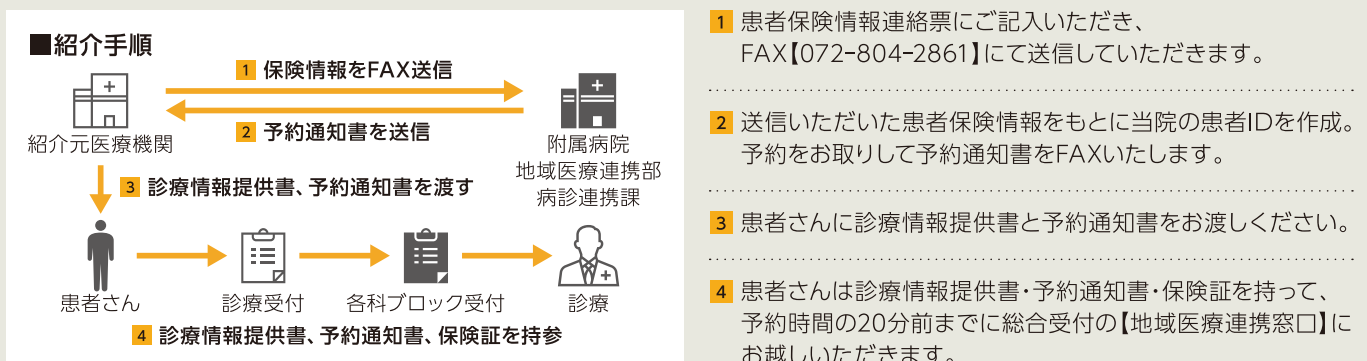


筋病理標本

### ■物忘れ外来

従来から行われていた物忘れ外来の担当医師としてに薬師寺教授が加わりました。認知症の診断、地域での介護環境整備の後、かかりつけ医での治療継続につないで参ります。

## 患者さんの紹介について



※診療科、診療日、医師の指定がある場合は、FAXにご記入ください。

※用紙請求については当院ホームページよりダウンロードいただくか、下部の連絡先にご連絡いただけますようお願いいたします。

※受付時間 平日 8:30～20:00/土曜日 8:30～12:30